

活セン ニュース

発行：いなべ市市民活動センター TEL：0594-74-5806 FAX：0594-74-5834



空き家、増えています。

空き家の増加が全国的な問題としてクローズアップされています。管理されない空き家が増えることで、倒壊の危険性や治安の悪化につながるということで、近隣地域にとっては、深刻な問題になっています。

しかし、空き家の問題は社会の構造的な問題です。人口が減少するなか、多くの空き家が放置され、一方では新築住宅が売られている。家族構成が変わっているのも原因の一つ。そうすると住み手のいなくなった家に、これまでと同じように住み続けることだけを正解と考えて、そこに目標を設定すると行き詰まる。発想の転換が必要になる。「住む」というニーズが少なくなったら、その場所をどのように使い直していくか。売れないから、貸せないから放置するのではなく、居住とは別の形で、活かせないだろうか？

「居住ではなく、住民の共有の場所に」

空き家を問題として考えるのではなく、資源として活かす新しい方法を考えるはどうだろうか？

使い込まれた「家」の魅力、暮らしの痕跡や懐かしさを感じさせてくれる古い建物。そんな魅力を活かした利用の方法もある。ただ、オーナーとの協議が必ずしもうまくいくとは限らないが・・・しかし、空き家を問題だ！ととらえるのではなく、活かす工夫も必要になっています。

(坂倉杏介、東京都市大学准教授の文献を参考にしました)

空き家や空き地を地域交流の「場」として活用する動きもあります。新築のピカピカした空間では味わえない、雰囲気がある。古い建物の暮らしの痕跡が人の気持ちを落ち着かせてくれると好評です。

しかし、課題も多い。使う側の責任、貸す側の気持ちがうまくかみ合わないと進まない。私有の不動産を活用した取り組みであることから、継続性の担保は難しい。かといって廃墟を増やすのではなく、今できることから進めていきたい。

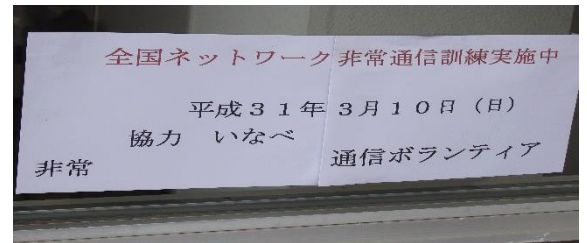
空き家について関心のある方、興味のある方はご意見お寄せください。



東日本大震災から8年

東海、東南海地震など巨大地震が予想される中、「防災科学技術研究所」が、茨城県沖地震の発生の確率が30年以内に90%以上に高まっている発表しました。私たちの地域に最も関係の深い東海・東南海地震も例外ではありません。あわてる前に、出来ることから備えをしておく必要があります。

3. 11を機に、今一度、防災について考えましょう。



毎年、「いなべ非常通信ボランティアの会」は、3月11日に、無線通信の試験通信を行っています。

震災時に、固定電話、携帯電話が繋がらず、救助を呼べなかったなか、無線通信が役に立ち、救助を求めることができた教訓をもとに、訓練を実施しています。この日も仲間と共に通信訓練を実施しました。

いなべ非常通信ボランティアの会は、年に数回、このような通信訓練を開催しています。

今一度、防災について考えてみましょう！！

*出来てますか？ **3日分の水と食料**の備蓄

出来ている方へ、賞味期限の点検、されていますか？

*家具の転倒防止はどうですか？

*電話が繋がらない時の、家族の連絡方法、確認していますか？

*NTTの災害伝言ダイヤル・・・**171**・・・覚えていますか？

*家族に繋がらない時に、**171**へ電話して録音しておく方法です。



7日間を生き延びよう

2～3日は、(電気の切れた)冷蔵庫の中の食材を工夫して食べる。

その後は、備蓄食料(レトルト食品)を食べる。

でも、小さい子どもの居る方、病気で薬の必要な方、家族の多い方、ペットの居る方など必要なものは、みなさん様々です。それぞれ必要に応じた備えが必要です。

また、夏と冬とでは、必要なものが変わります。工夫しましょう。

環境講座

「海洋のプラスチック汚染を考える」

3月2日（土）いなべ市市民活動センターで、世界で問題になっている海洋のプラスチック汚染についての講座を開催しました。

四日市大学の千葉 賢教授を招いて、海洋のプラスチック汚染について説明していただきました。日本のプラスチック生産量は年間約 1,000 万トン、世界では3億トンにもなります。世界の海洋へ、推計で 480~1270 万トン流出しています。生態系への悪影響と漁業被害が深刻です。

東京湾で採取したイワシの 77%から平均 2~3 個、多いもので 15 個のプラスチック片が体内から見つかっています。

身近な伊勢湾のゴミ問題も深刻です。内陸部のゴミが川から海に流れ込んでいます。

先生から私たちができることとして、「海洋のプラスチック汚染の情報をもっと知る。ポイ捨ては、絶対にしない。レジ袋はもらわない。ペットボトルは、全て回収ルートに乗せる、などたくさんあります。できることから始めましょう。」と話されました。海を守るために、一人一人の自覚が必要ですね。



企業の社会貢献活動

株式会社デンソー大安製作所の社員を中心にボランティア活動を行なっているデンソーハートフルクラブ大安。

3月16日（土）員弁庁舎を発着点として6コースに分かれて「まちの散策&美化活動」を行ないました。ゴミを拾いながら、それぞれのコースにある史跡・名所を巡り、いなべ市の語り部の会から、史跡・名所にまつわる話を聞きました。

なかでも三岐鉄道北勢線を利用して移動するコースはとても人気で、たくさんの方々が美化活動に参加しました。



※次回のデンソーハートフル大安の活動は 5/18 の衣料回収です。

3月17日（日）株式会社トヨタ車体いなべ工場にて植樹祭が行われました。

トヨタ車体いなべ工場の操業開始は、平成5年。「地球と人にやさしい車づくり」を目指し「企業の森づくり」の緑化活動を行なっています。

地域の方や社員・その家族と一緒にクヌギやドングリなどの苗木を毎年100本ずつ植えてきました。

今年はいなべ工場操業 25 周年を記念して 125 本の苗木が用意され、自然豊かな森に成長してくれることを願って、参加者で苗木を植えました。





コーヒー寄付金の助成先が決まりました

2018度は、6団体の応募がありました。その中から3人の審査員により
 厳選の結果、次の3団体に決まりました。

地域の課題に向き合う活動を今後も応援していきます。

ランチサービス若葉	子育てサロンさくらんぼ	いなべ防災ボランティアの会 防災ネットとういん
一人暮らしの高齢者に月に 一回お弁当をつくる活動	未就園児とその保護者が月1回 集まって育児の悩みなどを話し 合い、親睦をはかる。	いなべ市と東員町の両団体が協力 し合って防災教室を開催する



いなべ市市民活動センター事業を受託している「特定非営利活動法人 いなべ市民クラブ」の
 新役員を紹介します。2年間お世話になります。

- 【理事】 陰地 吉照 池田 秀夫 小川 時生 長田 正行 坂口 英男
 佐藤 巧三 黒淵 泰博 太田 俊隆 諸岡 良治 松宮 卓
 二川 邦代 山本はるよ 畑中美奈子
 【監事】 川瀬 学 山岡 和清

いなべ市市民活動センター

いなべ市員弁町笠田新田 111 員弁老人福祉センター内

TEL (0594) 74-5806 FAX 74-5834

E-mail i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp

HP <https://inabeshiminkatu.jimdo.com>

委託事業運営者 NPO 法人 いなべ市民クラブ

